

2015 年度のまとめ

「エコの環」活動

京都府のソーシャル・ビジネスプログラムの支援を受け、月に約 700kg の生ごみを処理しながら、その発酵肥料を使って 8 人ほどの高齢者が、無農薬野菜の栽培に関わりました。野菜の出荷量はまだ少なく、週に 1 回の訪問販売のみでしたが、765 千円の売り上げを得ました。

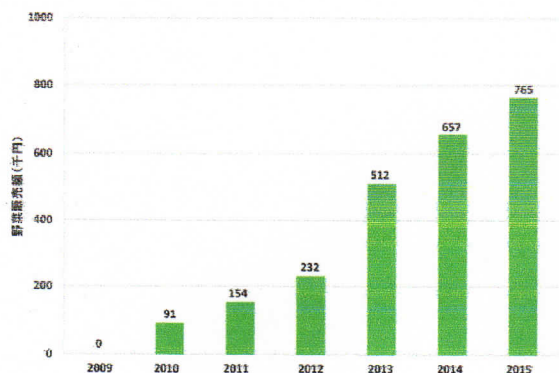


図-1 「エコの環」野菜の販売額推移

一方、「エコの環」活動を紹介するちーたびを、5 回実施しました。さつまいもの苗植え、生活習慣病・アレルギー疾患対策の料理教室、精進料理の体験など、延べ 44 名の方々に参加して頂き、高齢者が作る「エコの環」野菜の紹介と、食事の大切なことを訴えました。毎回、「野菜がおいしい」との声が聞かれ、改めて「エコの環」野菜の良さを確信しました。



図-2 「エコの環」野菜を使った精進料理

広報活動

私たちの活動を知ってもらうためアチコチに出かけ、広報に努めました。府立海洋高校では阿蘇海の環境問題に取り組んでおられ、へどろの用途開発には強い関心を示してもらっています。高校生の感性でゼオライト、へどろ吸湿材などに、何か新たな用途の生まれることを期待しています。



図-3 海洋高校でのへどろの用途の紹介



図-4 吉津小学校での環境学習



図-5 地域力再生事業発表会への参加

ラニーニャ現象

気象庁の発表によると、今夏はエルニーニョ現象が収束し、ラニーニャ現象が起きる可能性があるそうです。エルニーニョ／ラニーニャ、よく聞く言葉ですがご存じでしょうか。

太平洋の熱帯域では貿易風と呼ばれる東風（東から西に向かって吹く風）が常に吹いて、暖かい表面水が西側（インドネシア方面）に吹き寄せられ、それを補うように東側の南米沖では深海から冷たい海水が沸き上がるため、海水温は西部で高く東部で低い状態になっています。このため夏はインドネシア東部に積乱雲が盛んに発生して大量の雨を降らせ、雨の降った後の暖かい乾いた空気は、日本の南東に降下して太平洋高気圧を作ります。

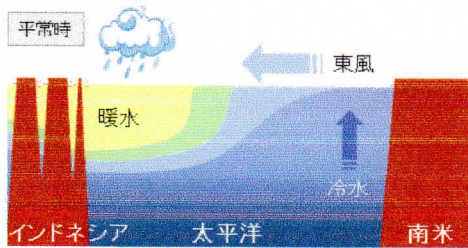


図6 2016年度一般会計予算案

ところが東風が平常より弱く、西部に溜まっていた暖かい海水が東方に広がり、東部の冷たい海水の湧昇も弱まるのが時々起きます。これがエルニーニョ現象で、積乱雲の発生や太平洋高気圧の位置は平常時より東方に移動します。

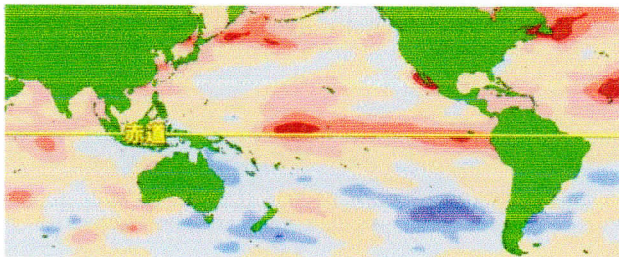


図7 エルニーニョ現象

一方、東風が強くと、暖かい海水がインドネシア近海まで押し寄せることも時々起きます。これがラニーニャ現象で、この時は太平洋高気圧が北に大きく張り出して日本を覆うようになり、日本の気温は高くなります。前回、ラニーニャ現象が起きたのは2010年で、「今年の漢字」に“暑”が選ばれました。

人生の目標

“空腹が「生き方」を教えてくれる”という本で、著者の南雲医師が面白いことを述べておられます。一部文章を書き換えて紹介します。

「身体が元気でお金も自由に使えるとして、残りの人生があと3日と言われたら、どう過ごしますか。多くの人はおいしいものを腹いっぱい食べ、お酒を飲み、面白おかしく過ごすことを考えるでしょう。つまり「人生の短期目標」は「快樂」なのです。では3ヶ月だったらどうでしょう。海外旅行や温泉など、今まで行ったことのないところへ行き、見たことのないものを見たいと言うでしょう。つまり「人生の中期目標」は「非日常」なのです。では3年と言われたらどうしますか。3年間、毎日暴飲暴食をしますか。3年間、海外旅行や温泉旅行を続けますか。多くの人は家族と過ごす時間を大切にするとか、仕事を一生懸命頑張ることを考えるでしょう。つまり「人生の長期目標」は、何の変哲もない「日常」にあるのです。食べることも飲むことも、遊ぶことも眠ることも、体調を毎日、絶好のコンディションに維持するための手段に過ぎず、元気に明るく過ごす日常こそが、「人生の目標（目的）」といえます。」

日本にきた外国人が日本のテレビを見て驚くのは、「グルメ番組」の多いことだそうです。食べ歩きなど食に関する番組が実に多く、食べることが目的化した内容に違和感を覚えるようです。その挙げ句は栄養補給のためのサプリメントや、体調改善の薬などの莫大な量の消費であり、年々膨張し続け、歯止めの利かない巨額な医療費です。人生の目標（目的）を間違えないようにしたいものです。

